

国際交流

平成 9 年 9 月 30 日 創刊

平成 31 年 3 月 31 日 発行 (第 41 号)

二松学舎大学国際交流センター

〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16

Tel:03-3261-5751

◆目次◆

①二松学舎大学と海外 6 大学との協定締結 1

②平成 30 年度 夏期短期海外語学研修 (英語圏) 実施報告
国際政治経済学部 2 年 中村 洋輝
(イギリス ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ) 2

③平成 30 年 春期短期海外語学研修 (中国語圏) 実施報告
文学部 3 年 吉原 千晶 (中国 浙江工商大学) 3

④平成 30 年度 派遣留学修了報告
文学部 3 年 小林 千恵 (韓国 成均館大学校派遣) 3

⑤平成 30 年度 交換留学生修了報告
台湾・中国文化大学 劉 嘉鑑 6
台湾・中国文化大学 劉 楓嵐 6
周口師範学院 張 蘭 7
中国・北京大学 仲 瓊 8

フランス・リール第三大学 グリンクール・アレクサンドル 8

中国・浙江工商大学 王 皖 9

中国・浙江工商大学 汪 文野 10

中国・浙江工商大学 潘 茜 11

中国・浙江工商大学 李 瑩玉 11

中国・浙江工商大学 李 穎 12

中国・浙江工商大学 劉 梦悦 13

⑥平成 30 年度 留学生との国際交流の会報告 14

⑦平成 30 年度 国際交流年末懇親会報告 14

⑧平成 30 年度 日本語・日本学特別プログラム報告 15

⑨平成 30 年度 日本語文化特別プログラム報告 15

⑩海外協定校教職員相互訪問制度に基づく北京大学歴史学系との
教員相互交流を実施 16

⑪国際交流センターからのお知らせ 16

二松学舎大学と海外 6 大学との協定締結

平成 30 年度に、以下の 6 大学と新たに交流協定を締結しました。

- フレーザーバレー大学 (カナダ)
- サザンクロス大学 (オーストラリア)
- 魯東大学 (中国)
- 浙江大学寧波理工学院 (中国)
- 浙江財経大学 (中国)
- 鄭州大学 (中国) ※新規交流合意書締結

本学では初となる北米地域の大学との新規締結をはじめ、協定校のネットワークはアジア、欧州、大洋州、北米とグローバルに拡充しております。今後も海外協定校の拡充を積極的に行うと共に、実りある国際交流活動を推進してまいります。



フレーザーバレー大学 (カナダ)



サザンクロス大学 (オーストラリア)



魯東大学 (中国)



浙江大学寧波理工学院 (中国)



浙江財経大学 (中国)



鄭州大学 (中国)

平成30年度 夏期短期海外語学研修（英語圏）実施報告

イギリス ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ

国際政治経済学部2年 中村 洋輝

イギリスを研修先として選んだ理由

以前から海外留学に興味があり、大学入学当時から参加してみたいと思っていました。

また海外へ一度も行ったことがなかったので、外国の文化に触れることのできる貴重な経験ができると思いこのプログラムに参加することを決めました。

イギリスを研修先に選んだ理由は、「有名なケンブリッジ大学で英語を学ぶことができる」ことが一番の理由です。

研修先の雰囲気

ケンブリッジ大学ホマートンカレッジに到着した時の一番の印象は、圧倒的な開放感でした。土地を広くに使い、ハリーポッターの世界に訪れたような感じです。大学内の建物もレンガ調で統一され、とてもおしゃれでした。先生やTAの方々はとても社交的で僕たち研修生を手厚く歓迎してくれました。

学習の内容

学習内容は、基本的にあるテーマに対するディベートとプレゼンです。授業自体は午前と午後に分かれ、各3時間の授業です。イギリスと日本の文化比較や、政治的

分野、芸術分野等を学びました。先生はとても面白く、優しいです。何より真剣に向き合って授業を行ってくれたのでとても取り組みやすかったです。課題はプレゼンがあります。あるテーマについてプレゼンを作る感じですが、毎日作らなければならないので忙しかったです。

現地での生活の様子

一番の思い出はロンドンへ行ったことです。大英博物館やバッキンガム宮殿、ピクベンへ観光できたことは本当に良い思い出です。そして街の景観に圧倒されました。

しかし、イギリスでの生活は不便と感ずることが多かったのです。例えばシャワーに不具合があったり、24時間営業のお店がなかったり、簡易キッチンが使えなかったりなど。日本の生活では当たり前であったことが、通用しないことが多かったのです。

今回の研修で得たこと

この研修で得たものは、スピーキング力とリスニング力です。強制的に英語を使わなくてはいけない状況下に置かれ、即座に理解し表現することを要求されるので、その点が一番伸びたと思います。しかし、自分の英語力のなさに改めて気がつかされる機会にもなりました。思ったように表現できないもどかしさ、相手に伝えられないことが一番辛かったです。何が自分に足りなくて、何をすべきなのかを気づかされた研修でした。これほどまでに英語を喋りたいと思ったことはないです。



ケンブリッジ大学ホマートンカレッジの外観写真

平成30年度 春期短期海外語学研修（中国語圏）実施報告



中国 浙江工商大学
文学部3年 吉原 千晶

短期海外語学研修の参加を決めた理由
以前から参加したいと考えており、3年生の春休みを逃すと機会を逸してしまうと思ったため、参加しました。

研修先の雰囲気（キャンパスや先生たちの雰囲気、現地学生との交流等）

キャンパスは建物が何棟もある他に広場や池・運動場・畑などもあり、広大な敷地でした。移動に時間がかかってしまう為、自転車や電気スクーターを使用している学生が多いましたが、気分転換に友人と散歩する人の姿もあり、とても開放的でした。また、関係者以外の人でも自由に入ることができるため、近所の子どもが遊んでいたりと、老夫婦が散歩していたりと賑やかで公園のような雰囲気でした。

浙江工商大学の日本語学科の方々に、キャンパスの案内だけでなく、スーパーマーケットや有名なレストランに連れて行って頂きました。困ったことなどがあるとすぐに相談に乗って下さり、とても有難かったです。帰国した現在でも連絡をとっている友人が何人かいます。

学習の内容（授業内容、先生の印象、課題・自習の量等）

非漢字圏の留学生と同じ授業を受けることもあり、語学学習には様々なアプローチがあることを体感しました。先生は熱心に授業をして下さり、とても分かりやすかったです。

現地での生活の様子

杭州市の西湖や京杭大運河、紹興市の魯迅故居や蘭亭、また上海市の東方明珠塔など様々な場所へ行きました。私は白蛇伝説が好きなので、特に西湖や雷峰塔が思いに残っています。西湖へは2度足を運びましたが、その日の天候や時間によって全く異なる印象で、飽きる事のない景色でした。数多くの唐詩宋詞が残されている事にも頷けます。

杭州市は阿里巴巴のジャック・マー氏の出身地であり、Alipayが初めて導入された場所です。そのためキャッシュレス化が驚くほど浸透していて、釣り銭不足で現金の支払いを断られたことがありました。留学中に目にした中国の若者はQRコード決済を利用して、現金決済は全然見られませんでした。

この留学でもっとも成長した点

憶することなく初対面の人と交流し、何事にも労力を惜しまずにチャレンジすることの大切さを学びました。力強く生きていきたいです。



集合写真

平成30年度 派遣留学修了報告



韓国 成均館大学校
文学部中国文学科3年 小林 千恵

1. 生活について

10か月の留学期間で2つの寮での生活を体験しました。どちらの寮も学校から徒歩圏内に位置しており通いやすさが抜群でした。その間に3人のルームメイトと

出会い、最初のルームメイトは日本人でお互いすぐに打ち解けました。寮に帰れば日本語で話せるという環境のおかげで留学初期もホームシックにならずに済みました。夏休みになるタイミングで引っ越しをしなければならず少し離れた寮に引っ越しをしました。そこは正規の学生用の寮であり勉強意識が高い成均館の学生たちとの暮らしは私に良い刺激を与えてくれました。そこで出会った中国人のルームメイト2人とは時に文化、価値観



語学堂の友人



満腹おやつ

の違いからぶつかったこともあったがその都度話し合っ
て今では親友と呼べる仲になりました。中国人学生との
公用語は韓国語で、寮でも韓国語漬けの生活を送ったこ
とで韓国語の会話力が上がったように思います。1か月の
生活費は学校から支給していただける奨学金の4万円
でしたが、学校、寮の周辺は“大学路”と言うだけあっ
て学生にやさしい価格で食事や衣服などを提供してくれ
る店が集まっており、お金の困る事はほぼ無かったです。
また学校周辺は昌慶宮を始めとする朝鮮王朝時代の建造
物が多く残っており休日時間がある日は頻繁に足を運び
歴史を感じながら有意義な時間を送ることができました。

2. 語学堂について

語学堂初日の実力テストで私は4級からスタートする
ことが決まりました。留学前に二松学舎の学生は大抵が
5級からスタートすると聞いていたため自分の出来の悪

さに落ち込みましたが、今思い返せば4級から始められ
たことで身についたことがとても多く、むしろ良かった
と思います。語学堂での公用語はもちろん韓国語で、
イギリス、フランス、イタリアなど世界中から集まった
友達たちと韓国語で話すという不思議な空間でした。そ
んな韓国語がネイティブの先生しかいない環境が私たち
に話す勇気を与え、皆が授業に積極的に参加しました。
クラスはどの級も10数人程度であったため先生に質問や
添削の依頼がしやすく先生のきめ細やかな指導を受け、
知らず知らずのうちに韓国語の実力が上がっていきまし
た。私は4級からスタートしたため夏休みも日本に帰ら
ずに語学堂に通いました。韓国語漬けの語学堂生活を6
か月送り語学堂6級を卒業するころには韓国語を使うこ
とへの恐れがなくなり、大学で正規授業を聞く自信をつ
けることができました。



伝統家屋前



五輪博物館



修了式の様子

3. 正規授業について

9月からは一般の学生と一緒に大学の正規授業を受講しました。語学堂の先生のやさしく明瞭な声とは違い大学の教授方の早口で専門用語に溢れた講義は慣れるまでに時間を要しました。毎授業ごとに教授に頼んで講義を録音させていただき寮で何度も聞き直しました。そんなことをしていたら中間試験が終わるころにはほとんどが聞き取れるようになり耳の慣れを感じました。また留学生ということで授業中に教授から日本について質問されることが多かったことです。それがきっかけで日本についても今まで以上に興味を持つようになりました。韓国の大学はほとんどの授業で課題、発表、チームプロジェクトが課せられます。そのため毎日何かしらの期限に追われて正直辛く思ったこともあったが、周りの勉強熱心な人が集まる環境にあと押しされて最後までやりきることができました。受講した科目はどれも興味深いものでしたが、特に「統一問題の理解」は南韓と北韓が再び歩み寄りつつあった2018年に受講し、両国間を取り巻く環境について深く知り考える機会を得たことはとても意味深かったと思います。

4. 成果そして成長へ

10か月間の留学を通して語学力が向上したことはもち

ろん、他の部分でも大きく成長できたように思います。語学力については10月に受けたTOPIC試験で最上級の6級を取得することができました。語学堂での授業がすべてそのままTOPIC対策になったため特に準備などせず合格することができました。試験結果がすべてではないが6級合格により自信をつけたように思います。また家族や友達がない韓国での生活は私を積極的にするとともに精神的な自立を促しました。また自分が置かれている環境がとても恵まれていることに気づきすべてに感謝の気持ちが溢れました。韓国で生活をしていると様々な場面で日韓間の葛藤に直面しました。友達から日帝時代のことについて尋ねられたり、授業で竹島問題についての日本人としての見解を求められたりする中で自分の無知さに気づき日韓関係、また日韓を取り巻く世界情勢に関心をもって積極的に調べるようになりました。韓国語を学んでいる日本人としてこれからもその部分について責任をもって学んでいくつもりです。最後に私に成長の機会をくださりサポートしてくださった二松学舎の教職員の皆様、日本からずっと応援してくれた両親、そして韓国で出会ったすべての方々に感謝申し上げます。



偉人に思いをはせて

平成30年度 交換留学生修了報告



今までありがとう

台湾・中国文化大学 劉 嘉鎰

2017年9月に、初めて留学生として日本に降り立った時の興奮した感情や、これから一年間の留学生活への期待感は今でもはっきり覚えていますし、今回、私が日本に留学ができたことを多くの人達に感謝したいと思っています。

この留学期間中に、自分が大きく成長したような気がします。様々な困難に遭って、最初は落ち込んだりもしましたが、まず深呼吸をして、やるべきことを頭の中で一つ一つ整理して、それを乗り越えようと行動し、やり遂げたときの達成感は、今までの努力が報われたと思います。

私は旅行が好きなので、休日には自分で旅行の計画をたて、日本国内を旅してきました。旅行のブログもやり始めたので、同じ趣味の人とシェアすることがすごく幸せに感じていました。

また、台湾にいるときには、料理をしたことがなかったので、日本に来てはじめて料理を作ることに挑戦してみました。留学は人を本当に変えることだとすごく感じました。

台湾に帰ってすぐ学校を卒業し、社会人として社会に踏み出していきますが、わくわくとした気持ちと同時に不安な気持ちもあります。しかしこの一年間で、多くの



ハロウィンパーティー

人に出会ったことや、身につけた知識や経験したことを一生忘れないで、光の未来へ進んで行こうと思います。



来てよかった東京

台湾・中国文化大学 劉 楓嵐

まるで昨日東京に着いたばかりかのように、あっという間に留学生活が終わってしまうことがとても信じられないです。

この一年間は、時の経つのがすごく早く、充実していたように思っています。学校でもシェアハウスでもたくさんの友達ができ、色々な素敵な思い出ができました。



クリスマスパーティー



大江戸温泉物語の足湯にて



川越氷川神社の絵馬



東京ディズニーシー

例えば、日本人の友達の家にお泊りしたりとか、地元のお祭りに参加することとか、特に自分が外国人だからか、思いやりを持って、色々なことを熱心に教えてくれました。そんなみんなと出会えて、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

私の日本での生活で一番好きになったことは、日本の四季がはっきりとしていて、それぞれの季節ごとに自然の風景を彩られていることです。自然風景が大好きな私にとっては、特に、チューリップ。四月に立川の昭和記念公園へチューリップを見に行ってきました。様々な種類があって、大きくて花の色が鮮やかでした。今まで、こんな綺麗なチューリップを見たことがなかったので、すごく感動しました。

留学生活は、自分自身のために、はじめての多くの経験をしながら、日本語の勉強のためだけではなく、国際視野を広げるなどの挑戦をするつもりです。

一年経った私は、後悔もしないで、元気で過ごせ、自信を持って自分は成長できたと言えます。留学生活はもうすぐ終わるが、自分の人生の次のページが始まります。



一年間の日本での留学生活について

周口師範学院 張 蘭

日本に来てからあっという間に十ヶ月が過ぎ去りました。振り返ると、様々な人と出会い、いろんなことを体験した充実な日々だったと思います。

はじめは、日本にひとりで来たので非常に寂しかったのですが、一緒にシェアハウスに住んでいる中国の交換留学生たちと出会ってからは、楽しい留学生活を送っていました。

去年は留学生だけの授業を受け勉強していましたが、阿曾村先生が日本人の学生たちとの交流できる出会いを作ってくれたおかげで、とても楽しかったです。

清水先生の授業では、いろいろな会話や作文の練習をして、日本語の能力も高くなりました。また、日本の面白い物語や文化なども教えていただき、日本の文化や考えや習慣などを理解できました。今年、書道の授業を受けて面白かったので、これからも書道を引き続きやっていきたいと思います。

学校ではやさしい先生たちと出会い、いろいろな勉強を教えていただき大変感謝しています。

友達と一緒に、お台場や東京タワー、スカイツリー、浅草寺、新宿御苑、ディズニーシーなどいろいろなところ



友人と東京国立博物館にて

ろにも行きました。冬休みの間には、一人で京都と奈良にも行きました。ちょうどその時期は桜が満開でしたので、非常に綺麗で魅力的な風景でした。

また、買い物をしているときや、駅や町で道に迷ったときなどは、いつも優しくしていただいて、日本に来てから、初めて日本人の優しさを感じることができ、心が暖かくなりました。一言でいうと、ほんとうに日本に来て良かったです。



恩返しの機会がないかもしれない

中国・北京大学 仲 瓊

日本に来た時のことを、まるで昨日のこのように思い出しますが、今は帰国の準備に追われる時期になりました。この一年間を振り返って見ると、とても楽しく充実していた大切な時間でありました。

二松学舎大学では、先生からは多くのご指導をいただき、日本の友人との交流からはたくさんの事を学びました。特に先生たちには言葉には言い表せないほど感謝しています。

博学で面白い佐藤先生、いつも満面の笑顔の高野先生、丁寧に教えていただいた山辺先生たちには、私の研究テーマについてたくさん調べていただき、貴重なアドバイスをいただきました。阿曾村先生と関先生には日本



阿曾村先生と神社めぐり



新宿御苑

語の知識だけではなく、日本の社会や文化などについても幅広く教えていただきました。また、国際交流センターの皆様にも大変お世話になりました。その一つ一つは私の心に深く刻み込まれました。

また、旅行で日本の絶景に巡り会う一年間でもありました。千鳥ヶ淵の夜桜、雨晴海岸の夕日、鳥取砂丘など日本の自然の美しさは、言葉にできないほど美しかったです。

たった一年でしたが、日本での生活は私にとって一生忘れられない思い出です。人生は一期一会と言っても、人と人の縁が結ばればそれは一生の宝物だと私はそう思っています。私は日本での貴重な経験を生かし、これからも頑張っていきたいと思っています。



留学生の感想

フランス・リール第三大学
グリンクール・アレクサンドル

昨年、故郷から成田空港までは直行便がないため、パリ経由の飛行で日本に来ました。飛行時間が長く、日本に来るのは初めてであった私は、日本に到着したときにはとても疲れてしまいました。長い入国審査の後、迎えに来ていただいた大学の方が、私を車でソーシャルレジデンス（注：学生寮）まで2時間ぐらいかけて届けていただきました。飲み物も買っていただき感謝しています。ソーシャルレジデンスでの生活は、実はフランスのそれとはとても違ったのでとてもびっくりしてしまいま



外国人チーム（ソーシャルレジデンス OAKHOUSE
フランスー韓国ー日本ーイタリアースウェーデン）

した。

暮らしはじめた頃、日本語が少し下手だった私は、コミュニケーションで誤解をされるのが怖かったのですが、今ではとても上手に話せております。他の住人達との交流で、日本語と英語以外にも新しい言葉を習いました。

大学で初めての授業が始まる一週間前は、携帯電話の購入や健康証明書の登録など、皆さんがとても優しく教えてくださり、おかげで緊張しませんでした。

一方、大学の授業は最初レベルが難しすぎたのです



富士のご来光（2018年の夏）

が、どんどん面白くなりました。しかし、私の授業の中には日本人学生があまりいなかったから、少しがっかりしました。それに大学では西洋人は私一人だけで、キャンパスは小さく、それもびっくりしました。大学の周りには繁華街なのに思ったより静かではありました。

日本に留学してから、いろんな場所に行ってみたり、夜中に富士山に登ったり、韓国に旅行もしたりと色々なことを経験しました。留学で思ったことは、積極的に行動することである。実は、今フランスに帰りたくないです。帰ったら日本の生活が恋しいと思ってしまうからです。



一期一会

中国・浙江工商大学 王 皖

日本に来てから、もうすぐ一年になろうとしている。あっという間に過ぎたような感じだけど、実は日本で平成最後の四季（春夏秋冬）を体験した。春は小金井公園の花吹雪、夏には千鳥ヶ淵の水面、秋は高尾山の紅葉狩り、冬は北海道での雪見。大自然がくださった素晴らしい景色に心から感動の意が湧き上がってきた。留学期間を半年も伸ばしてくれた先生たちには感謝している。

わたしが住んでいるマンションはシェアハウスの形で、世界各国の人が集まっている。そのおかげで、いろんな国の友達ができ、今まで知らなかった世界の一面が見えたきがしました。しかし、人とは出会いと別れが早く、「一期一会」のように、みんなと一緒にいる時間を



三鷹ジブリ美術館

ずっと大切にしていきたいと思います。

学校にいる時は、先生たちのご指導のもとで一生懸命に勉強しています。万葉集、アジア文化、日本の芸術史の授業を通して、日本と中国の文学と文化をより一層理解を深くしました。狂言、能、落語を実際に見るのはとても楽しかったし、日本で中国の汜劇を観るのも貴重な経験でした。

そして、何より嬉しいことは、親友ができたことです。中国が大好きで、将来中国に暮らしたい日本の友達や、一緒に中国から来た友達も、みんな優しくて気配りがあって、どんな悩みでも相談に乗ってくれます。将来はみんなと一緒に、暮らしたいなあという気持ちを持っています。

二松学舎大学に留学に来て本当に良かったです。この一年間で作った素晴らしい思い出は、生涯忘れられないものとなりましょう。



忘れ難い留學生活

中国・浙江工商大学 汪 文野

私はずっと以前から日本へ留学したいと思っていたのですが、今年この夢がようやく叶いました。しかし、“光陰矢の如し”もうすぐ半年間の交換留學生活が終わってしまいます。この半年間を振り返ってみると、多くのことを勉強し、成長できたと感じています。

勉強の面については、二松学舎大学の先生方が優しく、丁寧に私たちを教えていただきました。ハンゲル、万葉集、日本近代文学などの授業も受け、今まで全然知らなかった知識に触れたことで、日本の歴史や文化への理解がより一層深まりました。特に、中井先生の授業では、多くの日本の伝統的な芸能を勉強させていただきました。先生は国立劇場に私たちを連れていき、歌舞伎を鑑賞しました。私はずっと前から日本の伝統的な文化に興味を持っておりましたので、歌舞伎を見た時はすごく嬉しかったです。

生活面では、住んでいるシェアハウスの人達と一緒に料理を作ったり、ゲームをしたり、ワールドカップの試合を見たりして、とても嬉しかったです。ここでは、さまざまな国籍や文化の違う人達がたくさん集まっていま



原宿



三鷹ジブリ美術館にて

すが、友達としての出会いがあり、お互いの母国語を教えあったり、みんなで日本語での話し合いをしたりして、このような不思議な体験は貴重だなと思いました。

また、休日には時々友達と一緒に日本の名所にも行きました。例えば、御岳山、浅草、鎌倉、江ノ島、ディズニー等です。花見、山登り、夏祭り、花火大会なども体験して、本当に楽しかったです。

今回の留学によって、日本の文化と日本人を深く理解することできた上に、自分の視野も広げられたように感じます。この半年間という短い間でしたが、多くの方々のおかげで、有意義な時間を過ごせることができました。本当にありがとうございます。



忘れられない一年間

中国・浙江工商大学 潘 茜

今年は本当にあっという間でした。一年間の交換留学も、もう終了間近となりますが、この一年間を振り返ると、留学に来て本当に良かったと思っています。

初めての留学であり、初めての海外での生活は、何もかも新鮮でした。自分の目や耳で感じたいろいろな体験で、楽しい思い出もできました。

春には、千鳥ヶ淵の満開の桜、浅草寺の賑やかな三社祭、大学で開催した生け花大会、国立劇場の歌舞伎。夏には、上野公園での野球、江の島の海と貝殻、お台場の花火大会、花小金井のお祭り。秋には、高尾山の楓、新宿のビル街、渋谷のハロウィン、創縁祭での発表。冬に



美味です。葉山牛！



江島神社にて

は、本川越の鐘音、横浜の中華街、紅白歌合戦と夜12時の初詣。ほかには、奈良の鹿や京都の神社と寺、全部忘れないようしっかりと心にきざみこみました。

花小金井のシェアハウスでは、世界各地からのみんなと一緒にワールドカップを見たり、パーティーをしたり、お互いに自国の風習を説明したり、しゃべったり、笑ったりと、たくさんの楽しい思い出が深く記憶に刻みこめられました。なかでも最高のことは、偶然にも自分の興味深い小説と出会い、翻訳したことでした。

一年間の留学を通じて、会話能力も上手になったような気がします。

日本に、東京に、二松学舎大学に来て本当に良かったです。この素晴らしい一年間の留学生活は一生忘れられないです。日本で出会った皆さん、ありがとうございます！



留学生活

中国・浙江工商大学 李 莹玉

一年間の留学生活が、もうすぐ終わりに近づいています。この一年間を振り返ると、いろいろな面で自分自身が成長したなと思います。最初、留学するときには不安と心配事がいっぱいありましたが、今現在は日本の生活習慣にも慣れ、普通に日本人との会話もできるようになり、日本にいられて本当によかったと思っています。

昨年、東京に来たのがちょうど桜が満開の季節でした。公園で桜の花がいっぱい咲くのを見るとすごく感動しました。日本の学生たちは中国とは違って、学校までの通学時間はかかるけれど、一般的には自宅から通学し



国立昭和記念公園

ており、日本の交通の便がとても良いと思います。

学校では先生方が優しく勉強を教えてくれたり、ほかの学生たちとも仲が良く、授業の雰囲気も良いです。また、歌舞伎と落語、生花などの伝統的な日本の文化を体験していい勉強になりました。

夏になると、祭りに行ったり、花火大会の花火を見に行ったり、とても賑やかで楽しかったです。夏休みには、大阪、奈良、京都に行って神社と寺をたくさん見学しました。

九月になると新学期が始まり、再び学校生活に戻りました。十一月には学園祭があり、その日は学生たちが自分で料理を作って売ったり、書法の展覧会もあり、ゲームも楽しめたり、本当にたくさんの経験をしました。

そして待ちに待った紅葉が赤くなっていくなか、友達と一緒に高尾山に登り、赤と緑色が混ざった山頂の美しさを満喫しました。

最後に今年の新年は東京で、他の国から来ているみんな



大涌谷の黒玉子

など家族のように集まって、新年を祝えてとても幸せでした。

日本に来て、視野も広がり、文化の違いも理解しました。この一年間の留学生活に感謝の気持ちを持って、これからも日本語をよく学んでいきたいと思います。



有意義な半年間

中国・浙江工商大学 李 穎

二松学舎大学での交換留学生活がいよいよ最後に近づいてきました。短い半年間でしたが、色々心暖まる出来事や感慨深いことが心の中に残っておりますが、未練を感じながらもバイバイを言う時がやって来ました。

まずは授業からです。日本の文化と日中交流に関する知識がいっぱい勉強になりました。毎週5回の授業に参加し、他の時間は、シンポジウムや講演、美術館や博物館とか行ったりもしました。すごく充実していました。

生活面では、日本で実際に生活しないと分からないことがたくさん体験できました。自分の国から出国してからこそ、自分の国の個性と情状がよりよく見えるようにもなり、日本だけではなく中国に対しての理解もより深くなりました。

一番有難いことは、各国のたくさんの友達ができて、すごく楽しい時間を過ごせたことです。東京は国際化と受容性も高い大都市です。たくさんの国の人と出会い、交流ができます。それを通して世界と繋がり、どんどん自分の視野と見聞を広げてゆきます。一番の宝になれる



シェアハウスでの誕生日パーティ



年越しの火鍋パーティ



寮にて会食

ことは、やっぱり人生の海に有意義な時間を沈殿するってことでしょう。

春休みに入って、友達と北海道、九州、関西など色々な所を旅し、日本各地の文化と景色を見てきました。日本の交通の便利さと他人への思いやりが一番感動いたしました。これからは豊かな心を持って故郷に帰っていきます。またいつか日本へ来る機会を楽しみにしています。



出会えてよかった

中国・浙江工商大学 劉 夢悦

知らず知らずのうちに、留学生活が終わってしまいました。この半年間、多くのことを体験し、多くの人に出会い、多くの新しい事に触れて来ました。



江ノ島の海

留学の前に、好きな場所に旅行し、自分との付き合いを見つめ直し、論文を書き進めることを留学計画としてノートに書き込みました。今振り返れば、ほぼ達成したなと思います。とても満足しています。

京都や奈良などへ旅行した時、龍安寺の枯山水、金閣寺、奈良公園の鹿などに深く感動し、日本の文化を満喫した思い出でした。特に、龍安寺枯山水の前に座って枯寂の美を感じながら心を落ち着けてみました。日本の歴史文化はこの特別な方法で、日本人を支えているんじゃないかと思っています。

上野公園、新宿、江ノ島などは、新しい日本の別の姿を現しているように思える。

授業については、王先生、中川先生などの授業を受講しました。先生たちはとても親切で、授業によって芸術と絵巻きなどの新しい知識も勉強しました。特に王先生のゼミに参加してからは、自分の論文作成に役に立つ能力も上げていただき、とてもありがたいことだと思っています。

学校のクラスメートはみんな優しく、日本人の友達からは大変お世話になり、留学生活は彼らのおかげで楽しい思い出がたくさんできました。みなさん本当にありがとう！

留学の最初の頃は一人で寮にいる時、いつも何をすれば良いのかわからず、ゴロゴロしている自分に不安を感じましたが、自分の趣味が役に立って最後は自分と付き合い合うことを学びました。

現在は、計画通りに日々を過ごしていますが、帰国後も自分で計画をたて、行動できる自分に日本で新たに出会えたと思います。

平成30年度 留学生との国際交流の会報告

本学主催の総合的な国際交流行事である「国際交流の会」は、昨年に引き続き創縁祭の開催にあわせて実施しました。「外国人留学生」および「留学経験のある日本人学生」による発表会を主とした行事です。両学生が、同じテーマ（異文化体験・国際交流）に沿って、それぞれの体験や意見を発表し、終了後、外国人留学生、日本人留学体験者および、その代表参加者との交流会を兼ねた懇親会（世界各国のお菓子や軽食を提供）を実施しました。

異国での留学生という立場で、それぞれの学生が発表を始めると、来場者が強うなずく様子や発表直後に会場から質問が出るなど、活気あふれる交流が印象的でした。また、言葉だけでなく、「味覚」でも交流をはかるべく、「世界のお菓子」を実際に提供して、食べ比べを行いました。参加者同士で、「そのお菓子にまつわるエ

ピソード」などを紹介しあうなど活気あふれる行事となりました。



平成30年度 国際交流年末懇親会報告

中国飯店・市ヶ谷店を会場として、外国人留学生、教職員、父母会役員、本学国際交流サポーター学生など合計80名が参加しました。開会に際し、高野副学長から国際交流活動への父母会の支援に対して感謝の言葉が述べられ、続いて、宮脇父母会長の乾杯の発声を契機に和やかな雰囲気とともに懇親会が開始しました。

翌日に多くの留学生が受験すると思われる日本語能力試験があることに配慮し、懇親会実施の時間帯を昼間に変更し、また、会場についても昨年とは趣向を変え、中華料理店で開催しました。着席でのコース料理ということもあり、円卓を囲む参加者同士がじっくりと会話をす

る機会が増えたことで、どの円卓もおおいに会話が弾んでいました。また、中国人留学生にとっては、日本の高級中華料理の数々に舌鼓を打ちながら、少し日本人にあわせた味付けにも異文化の発見があり、会話が盛り上がる良い機会となっていたようでした。

親睦と交流を目的とした余興も実施され、学生、教職員、父母会役員の全員が積極的に参加することで、終始、盛況で和やかな懇親会となり、日本人、外国人を問わず、参加者同士での記念撮影や連絡先を交換する様子なども見受けられ、有意義な交流の機会となりました。



武永先生を囲んで



高野副学長の挨拶

平成30年度 日本語・日本学特別プログラム報告

平成29年度から開始された「日本語・日本学特別プログラム」も、無事に2年目が終了しました。

「日本語・日本学特別プログラム」は、本学の海外協定校である中国の6大学（浙江工商大学、嘉興学院、浙江越秀外国語学院、浙江農林大学、浙江外国語学院、河南大学）から、留学生を1年間本学を受け入れ、日本語学習、学部授業受講および日本文化体験等を行う本学独自の留学プログラムです。平成30年度は、各大学から総勢42名の留学生が本プログラムに参加しました。

年間を通じて、授業はもちろんのこと、学園祭での交

流会やしょうゆ工場の見学会、またアルバイト活動を行う等、留学生達はそれぞれの日本留学体験を満喫した様子でした。

慣れない異国の地で、自主的に活動することは容易なことではありませんが、どの留学生も自分のペースで留学経験を積んでいたように見受けられました。

3年目となる次年度も、6大学に加え、新たに2大学（浙江財経大学、浙江寧波理工学院）と海外協定を結び、計8大学の留学生を受け入れて、より良いプログラムにしたいと思います。



年末懇親会の様子



学生宿舎のパーティーの様子

平成30年度 日本語文化特別プログラム報告

「日本語・日本学特別プログラム」が4月から開始された半年後の9月からは、本学の海外協定校である鄭州大学（中国・河南省）の留学生24名が半年間の留学体験プログラム「日本語文化特別プログラム」が開始となりました。

「日本語・日本学特別プログラム」より半年短い特別

プログラムでしたが、鄭州大学の留学生のみならず、国際交流の会等の行事体験を通じて、本学に在籍する日本人学生とも交流を深め、良い体験となったようです。次年度の実施は未定ですが、このプログラムをきっかけに鄭州大学との国際交流活動が活性化することとなるでしょう。



国際交流の会の様子



修了式の記念撮影

海外協定校教職員相互訪問制度に基づく北京大学歴史学系との教員相互交流を実施

北京大学との教職員相互交流活動を、平成30年度も実施しました。滞在期間中には、双方の大学において、来訪記念の講演会等を実施しました。今後も本学と北京大学との友好的な交流が続くことが期待されます（受入れと派遣の実施時期は以下のとおり）

～受入れ～

- ・期 間：平成31年 1月14日（月）～1月18日（金）
- ・受入教員：北京大学歴史学系副教授
党 宝海（トウ ホウカイ）
- ・活動内容：学長表敬訪問、記念講演会等

～派 遣～

- ・期 間：平成31年 3月20日（水）～3月24日（日）
- ・派遣教員：文学部准教授 松本 健太郎
- ・活動内容：歴史学系主任表敬訪問、記念講演会等



菅原学長（左）と党副教授（右）



北京大学西門前にて



記念講演会の様子



講演会時の記念撮影

国際交流センターからのお知らせ

本学では、英語圏、中国語圏、韓国語圏への短期海外語学研修や派遣留学の機会を提供しています。2019年度からは留学助成制度を開始し、より多くの学生が海外へ留学できるサポートを行います。研修先や制度についての詳細は国際交流センターまでお問い合わせください。

◇本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 E-mail : icenter1@nishogakusha-u.ac.jp